



ピジョンハーツ株式会社のサービスイメージ



(前列左) 経営企画本部 経営管理室
人事グループ マネージャー 特定社会保険労務士 谷 有香 様
(前列右) 経営企画本部 経営管理室 人事グループ 岡田 真理子 様
他、人事グループメンバー

会社概要

- 本社所在地:〒103-0005
東京都中央区日本橋久松町4番4号
- 従業員数:563名(2017年1月末現在)
- 事業内容:企業内保育所・院内保育所・認可保育園・
東京都認証保育所・イベント保育・幼児教室の企画・
運営受託、コンサルティング、研修事業
- URL:<http://www.pigeonhearts.co.jp/>

セスして業務を行うことで、ネットワーク、端末の両面でセキュリティ対策を行っています。サーバーのファイルは所属部署の社員のみがアクセスできるよう制限をかけており、パソコンもログイン認証とUSB型データ通信端末使用時の認証による二重の認証を設定する他、パソコン本体にデータ暗号化ソフトをインストールし、盗難・紛失の際のデータ流失を防いでいます。社内との連絡手段は部署毎に貸与している携帯電話とメールを使いました。

モデル実証を終えて

デバイスや就業面の課題抽出、
本格導入に活かしたい

実施した社員からは、長い通勤時間から解放され疲労が解消された、家事や子どもの送り迎えに余裕ができた、終業後に通院できた、在宅での業務の具体的なイ

メージを持た、リラックスして集中できた等、良い反応があり、今後、テレワークという働き方を選べる安心感が得られました。一方でパソコンのサイズが小さく非効率、紙の資料が使えないと小さなディスプレイで複数の資料を同時に見ながら作業するため不便等、端末関連の課題も上がっています。さらに、途中で介護対応の中抜け時間を取れる等、在宅ならではのメリットを活かしたルールがあれば有効だという声もありました。多くの貴重な意見を聞くことができたことで、課題やルールを再検討・整備し、テレワークの本格導入へ前向きに取り組んでいきたいと思えます。



在宅勤務で業務を行う様子

ライフイベントに寄り添う働き方の拡充

社員の出産・育児・介護の変化にも対応、
通勤時間を有効に活用し効率的な働き方を推進したい

社員の90%が女性、
ライフステージの変化に着目

当社は認可・認証保育園、企業・法人の事業所内保育施設等の保育園事業を核に、イベントや商業施設内の一時預かり等の保育サービス提供を始め、教育関連の教室運営、保育園関連のコンサルティングも行っています。事業の性格上、社員の90%以上が女性で出産・育児、介護等、ライフステージの変化を迎える社員も多く、会社として寄り添った働き方を提供したい、また外出機会の多い社員も効率的な働き方を目指してもらいたいとの想いがありました。さらに、全国に多数拠点があるため、経営側としてはBCP対策としてもテレワークの展開に期待を寄せていました。

家で可能な業務を本人が切り分け
1台のパソコンを共有で使用

今回は人事グループ、保育施設運営部、幼児教育運営部から、バランス良く人選。育児・介護に携わる人も、そうでない人も含め30代、40代、50代の社員8名が2017年11月から12月末まで、可能な範囲で週1回程度の在宅勤務を実施しました。人事グループの社員は研修マニュアルの制作や修正、研修交通費精算の

チェック等、幼児教育運営部の社員は1日のイベントプログラム制作等、家で可能な業務を本人が切り分けて当日の業務計画とタイムスケジュールを作り、上司に了解を得て実施しました。運用は、会社貸与のノートパソコン1台を共有で使用し、在宅勤務のスケジュールをあらかじめ作成し、クラウド管理システム*を使って、スケジュールも社内の社員と共有しました。

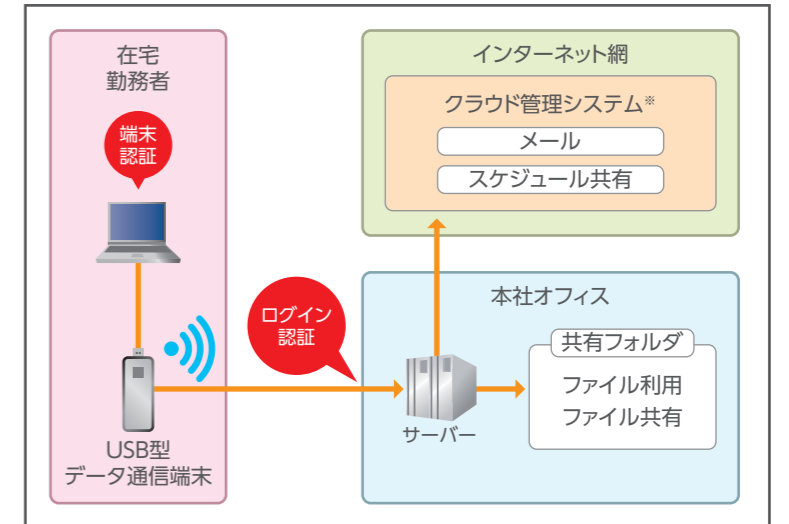
ネットワーク・端末、意識面でも
セキュリティを重視して管理を徹底

人事グループが今回のテレワークルールを作成。就業時間は9時～17時15分と定時のまま利用し、通常使っている勤怠管理システムで始業時・終業時にパソコン上での操作で打刻します。パソコンのローカル上にデータを落とさない、USB等の外部記憶装置を使用しない、家族と同じ部屋で仕事をしない、ディスプレイに保護シートを貼ってのぞき見を防ぐ、紙の資料の持ち帰り禁止等のルールを決めて運用しました。パソコンの管理表を作成し、貸し出しは事前に使う人が申請して人事部から貸与、返却時も内容チェックします。社員は会社貸与のノートパソコンと、社内の基幹システムだけにアクセス制限できる機能を備えたUSB型データ通信端末を使用し、閉域ネットワークを利用して自宅から会社のサーバーにアク

解決ポイント



テレワーク実施時に活用した機材一式



経営課題

- ライフイベントに合わせた働き方の提供
- BCP対策としてテレワークを利用

導入概要

- 人事グループ、保育施設運営部、幼児教育運営部からバランス良く8名を人選
- 在宅勤務に限定、全員のスケジュールをあらかじめ作成、支給ノートパソコン1台を共有して使用
- ネットワーク環境を始め、端末・運用ルールに至るまでセキュリティ対策を重視

導入効果

- 通勤の疲労・ストレスの軽減
- 削減した通勤時間を育児・通院等へ有効に活用
- ライフステージが変わっても継続勤務できる安心感

モデル実証企業からのアドバイス



- ◆できることから始めてみる
制約の多いスモールスタートのモデル実証事業でしたが、シンプルな体制だったため投資コスト等のハードルは低く、セキュリティも工夫次第で対策できました。検証・課題抽出も行いやすかったと感じています。
- ◆管理職にもテレワークの実践を
正式導入に向けて推進していく上で、管理職にもテレワークを体験してもらおうと良いかもしれません。テレワークの現実を共有すると、管理職もイメージが鮮明になり、理解も得やすいのではと考えています。

■クラウドとは：インターネット上にデータを保存する使い方、サービスのこと。
※クラウド管理システム：クラウドで提供される業務管理サービスやチャットサービスなどの総称。